

体操競技専門部の対策

【参加者について】

1. 選手・監督・コーチ、大会役員・審判・来賓等、応援者(選手1名につき2名)のみとする。
2. 選手・監督・コーチは、(別紙1)体調記録表を大会2週間前から記入し、大会前日に、監督に提出すること。その他の参加者は、それぞれ記入し、各自保管とする。
監督は、(別紙1)で選手・コーチの状況を確認し、(別紙2)学校同行者体調記録表にまとめ、大会当日、本部に提出すること。
応援者については、各学校の応援者代表が、大会当日、(別紙4)応援者(保護者等)体調記録表を作成し、監督は、(別紙2)とあわせて本部に提出する。体調不良者の参加を認めない。

【提出物一覧(朝受付時)】

- ☐ 参加料
- ☐ (別紙5)同意書 ← 参加選手分
- ☐ (別紙2)学校同行者体調記録表 ← 選手・監督・コーチ分
- ☐ (別紙4)応援者(保護者等)体調記録表 ← 応援者分

3. 選手が練習や競技を行う場合を除き、全ての参加者はマスクを着用すること。ただし、選手に関しては、高温多湿の環境下でのマスク着用が熱中症のリスク等につながると判断した場合には、マスクを外すよう指導すること。
4. 更衣室の利用は密にならないよう、少ない人数で長居しないよう気を付けること。
5. トイレに並ぶ場合は、十分な距離(2m以上)を空けること。
6. 試合をしていない時は、観覧席にて十分な距離(2m以上)を保って観戦し、大声を出しての応援はしないこと。
7. その他、三つの密「密閉・密集・密接」の回避や、「人と人との距離の確保」「手洗いなどの手指消毒」をはじめとした基本的な感染防止対策を各自しっかり行うこと。

【試合について】

1. 開・閉会式は行わず、表彰式のみ行う。
2. 試合前・試合中・試合後には、競技場入口や器具周辺に設置している手指消毒液で消毒を行うこと。また、試合終了のたびにこまめな手洗い・うがいを行うこと。
3. 試合開始前・終了後の挨拶は、できるだけ審判から1m以上離れて行うこと。
4. 試合中、監督・コーチやチームメイトとのハイタッチや握手は行わず、至近距離での声掛けも行わないこと。
5. 監督・コーチのアドバイスは、できるだけ対面せず前を向いて行う。対面で行う場合は、距離を取った上で行うこと。

6. タオルなど個人で準備するものはシェアをしないこと。また、飲料水に関しては、マイボトルを用意し、チーム内でのコップの共有・使い回しをしないこと。

7. 器具や審判机上の消毒を定期的に行う。

【応援者について】

1. 人数は、最大で選手1名につき2名まで認める。
2. 応援者の入れ替わりは認めるが、入場を予定している応援者全員を（別紙4）応援者（保護者等）体調記録表に記入し、事前に提出していることとする。
3. 会場にいる間は、常に本部が配付したIDカードを身につけること。IDカードがない場合は、会場への入場はできない。（IDカードは朝の受付時に配付する。）

【その他】

1. 感染防止のために本部が決めた措置を遵守し、その指示に従うこと。
2. 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、県中体連事務局へに速やかに濃厚接触者の有無について報告すること。
3. 各記録表提出や、参加者が遵守すべき事項について、協力を得られない参加者には、他の参加者の安全を確保する等の観点から、大会への参加を取り消したり、途中退場を求めたりすることがある。
4. 本大会参加者に感染が判明した場合には、参加者名簿を関係機関に公表する場合がある。